

續膝栗毛十一編 下

新
遠13
1164
45



13
1164
45

宮

水

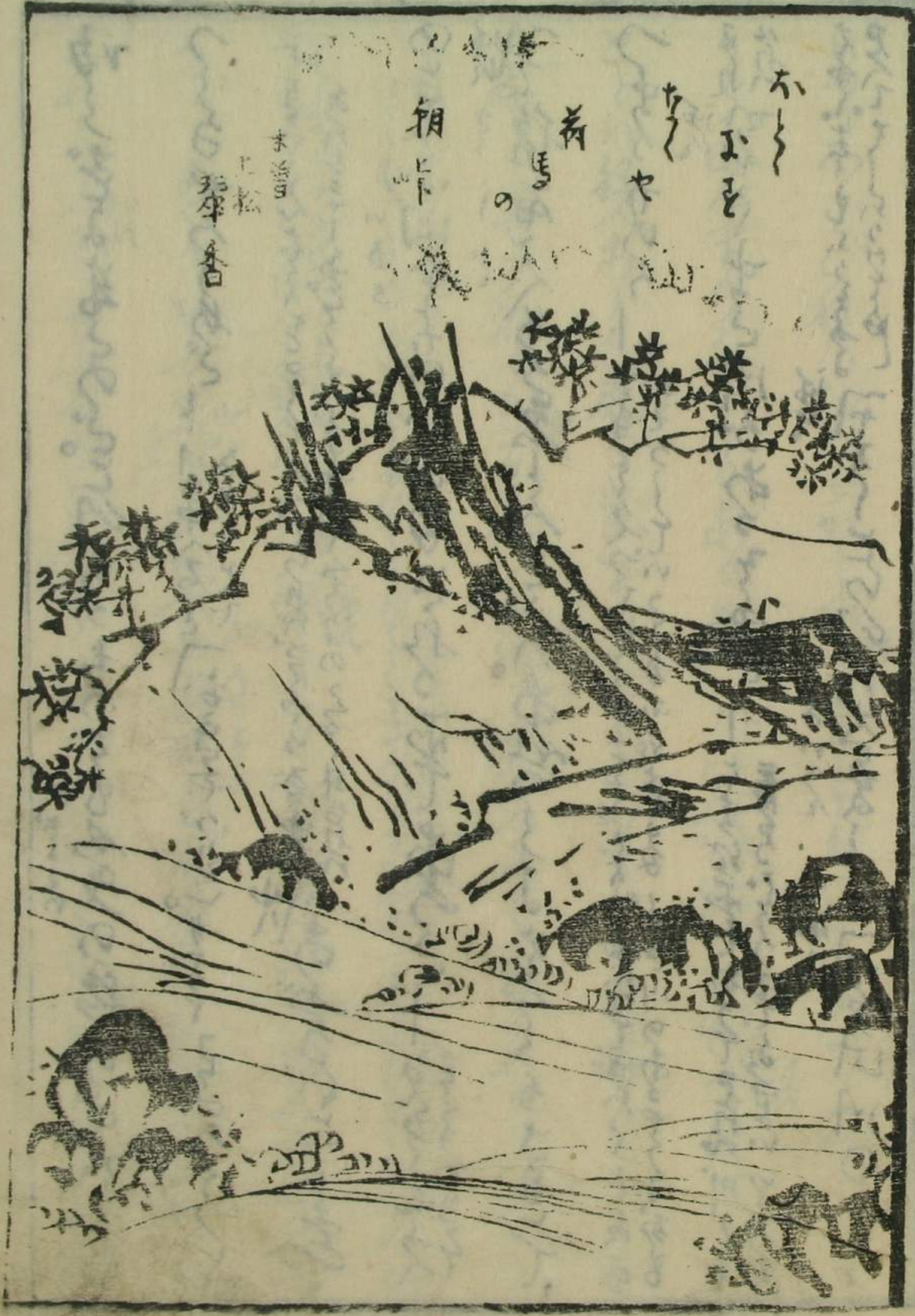
海
信
蔵

續 藤栗毛十一編

冊



其の先づう馬の輝とわろとのいふまゝうへ富とて
 出さるが。きのよきのもまゝうへ道とてうへ遠へかま
 細横谷とてうへあへるうへうへうへうへうへうへうへ
 一巻とてあへるうへうへうへうへうへうへうへうへ
 山まわるとてあへるうへうへうへうへうへうへうへ
 往來のまわるとてあへるうへうへうへうへうへうへ
 細



本
松
香

相
下

新
馬

ち
や

不
下

不
下



不
下

花
の

未
知

生
花

本
曾

河

可
本

坂
曾

古
狂

ゆづぎよもものしんじちがちりともめまの終入のぶをくる

つゝさざうつめど ト 甲入る ト 甲入る ト 甲入る ト 甲入る

ト まい ト まい ト まい ト まい ト まい ト まい ト まい ト まい ト まい ト まい

の ト 田 ト 田 ト 田 ト 田 ト 田 ト 田 ト 田 ト 田 ト 田 ト 田

引 ト 引 ト 引 ト 引 ト 引 ト 引 ト 引 ト 引 ト 引 ト 引

つ ト 中 ト 中 ト 中 ト 中 ト 中 ト 中 ト 中 ト 中 ト 中 ト 中

筑 ト 筑 ト 筑 ト 筑 ト 筑 ト 筑 ト 筑 ト 筑 ト 筑 ト 筑

及 ト 及 ト 及 ト 及 ト 及 ト 及 ト 及 ト 及 ト 及 ト 及

わ ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち

く ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち

と ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち

刀 ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち

ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち

わ ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち

る ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち

さ ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち ト ち

ト 甲入る

ト 甲入る

ト 甲入る

ト 甲入る

ト 甲入る

ト 甲入る

ト 甲入る

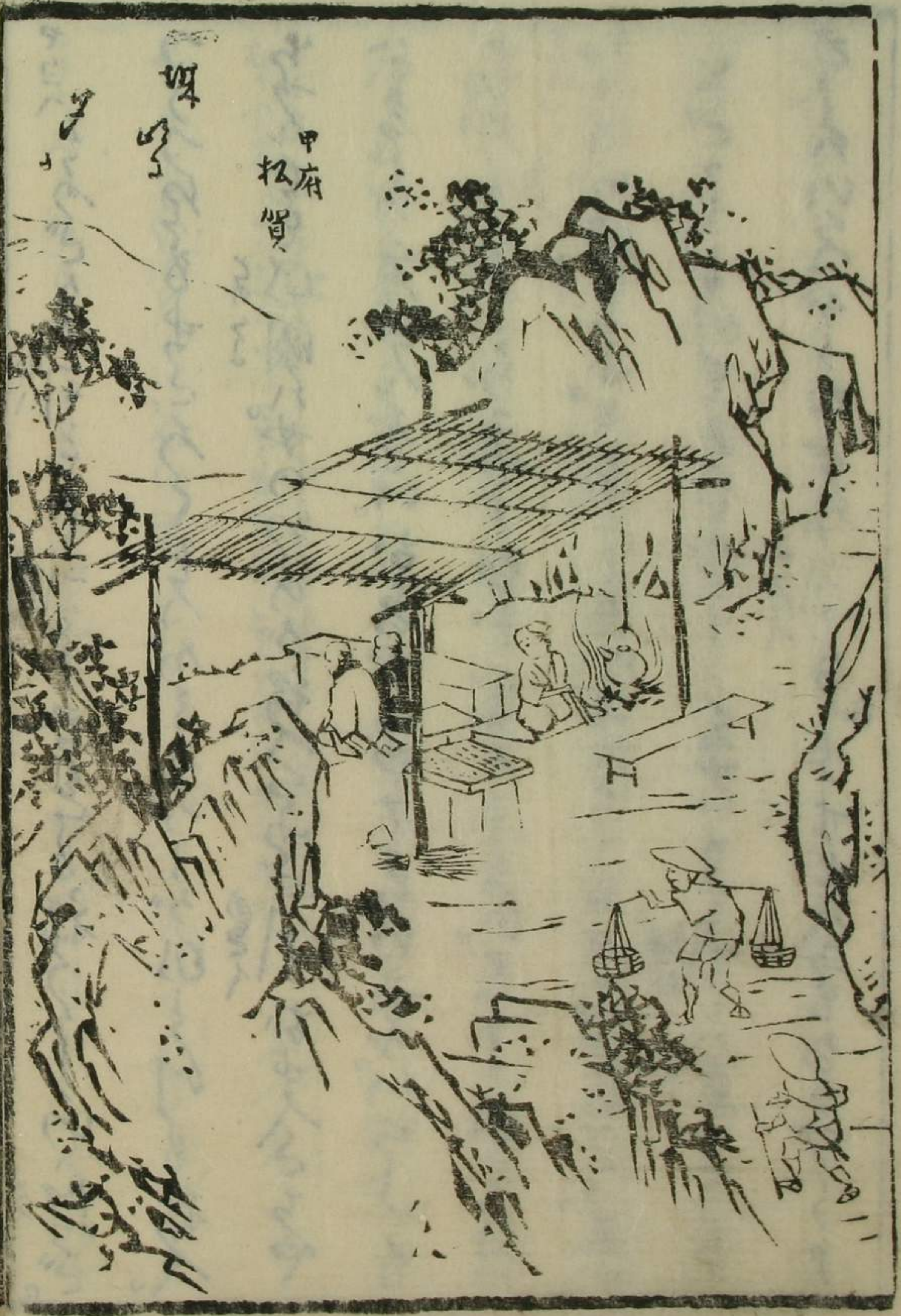
ト 甲入る

ト 甲入る

ト 甲入る

ト 甲入る

ト 甲入る



おどろきさア（驚）引（引）えさうさだの酒屋の娘といふかその節（節）
出（出）しこまろわめ（おどろき人）引（引）きでびびりさア。いふもハ人
男（男）とお中（中）てまねついでさう。や（一）ひびきでら（節）ん甘まやア
とら（とら）んいさのいが。そのいがま。つうのまやアあいう人よ。
男（男）好（好）さう（おどろき）。さうさどもまきま（まきま）。お後の（おどろき）でさる。何（何）
るサ（サ）でびびりさア引（引）まやあひさう。サトそのの時でん。
宿（宿）の（や）やせぬ（や）う（八）か（八）るさる。さう入宿をまきま（まきま）う（ま）も
ちび（ちび）。足（足）あ（あ）もさう移（移）入（入）。さま（さま）う（ま）さるわめ（ま）う（ま）ハテサその

まろわめが同あで（同）。足（足）あ（あ）でもあま（あま）う（ま）。でも（ま）おどろき
移（移）入（入）。サトさあで（ま）さう（ま）やう（ま）移（移）入（入）。サト（ま）さう（ま）さう（ま）さう（ま）さう（ま）さう（ま）
ま（ま）やア（ま）あ（ま）い（ま）う（ま）。ま（ま）い（ま）い（ま）や（ま）ん（ま）こ（ま）め（ま）さ（ま）う（ま）い（ま）。さ（ま）う（ま）が（ま）の
や（ま）う（ま）の（ま）ま（ま）ね（ま）と（ま）高（ま）人（ま）の（ま）あ（ま）ま（ま）ま（ま）ア（ま）リ（ま）引（ま）それ（ま）ト（ま）や（ま）。さ（ま）う（ま）の
移（移）入（入）の（ま）あ（ま）移（移）入（入）と（ま）ら（ま）あ（ま）の（ま）さ（ま）移（移）。あ（ま）め（ま）の（ま）ま（ま）さ（ま）の（ま）ま（ま）と（ま）ま（ま）
て（ま）ね（ま）う（ま）さ（ま）う（ま）う（ま）。サトあめ入（ま）。は（ま）ま（ま）と（ま）あ（ま）で（ま）や（ま）つ（ま）て（ま）さ（ま）
ま（ま）と（ま）い（ま）う（ま）て（ま）え（ま）る（ま）さ（ま）う（ま）。さ（ま）あ（ま）う（ま）で（ま）あ（ま）ま（ま）う（ま）。その（ま）う（ま）さ（ま）う（ま）
あ（ま）め（ま）入（ま）お（ま）嫌（ま）う（ま）ま（ま）う（ま）移（移）入（入）。清（ま）の（ま）ま（ま）が（ま）お（ま）こ（ま）う（ま）や（ま）ま（ま）う（ま）



珠奈

くろと
ゆ
この
ま

大
味



ねさ
ゆ
ま
おん

うらうまう移入イしつても十世しうしつていくの。ちえ

の移入イしつても十世しうしつていくの。ちえ

あうしつてあうしつて

あうしつてあうしつて

あうしつてあうしつて

いふはうしつてあうしつて

いふはうしつてあうしつて

いふはうしつてあうしつて

早イのくぶしつてあうしつて

早イのくぶしつてあうしつて

早イのくぶしつてあうしつて

早イのくぶしつてあうしつて

早イのくぶしつてあうしつて

早イのくぶしつてあうしつて

あうしつてあうしつて

あうしつてあうしつて

あうしつてあうしつて

うらうまう移入イしつても十世しうしつていくの。ちえ

の移入イしつても十世しうしつていくの。ちえ

あうしつてあうしつて

あうしつてあうしつて

あうしつてあうしつて

いふはうしつてあうしつて

いふはうしつてあうしつて

いふはうしつてあうしつて

早イのくぶしつてあうしつて

早イのくぶしつてあうしつて

早イのくぶしつてあうしつて

早イのくぶしつてあうしつて

早イのくぶしつてあうしつて

早イのくぶしつてあうしつて

あうしつてあうしつて

あうしつてあうしつて

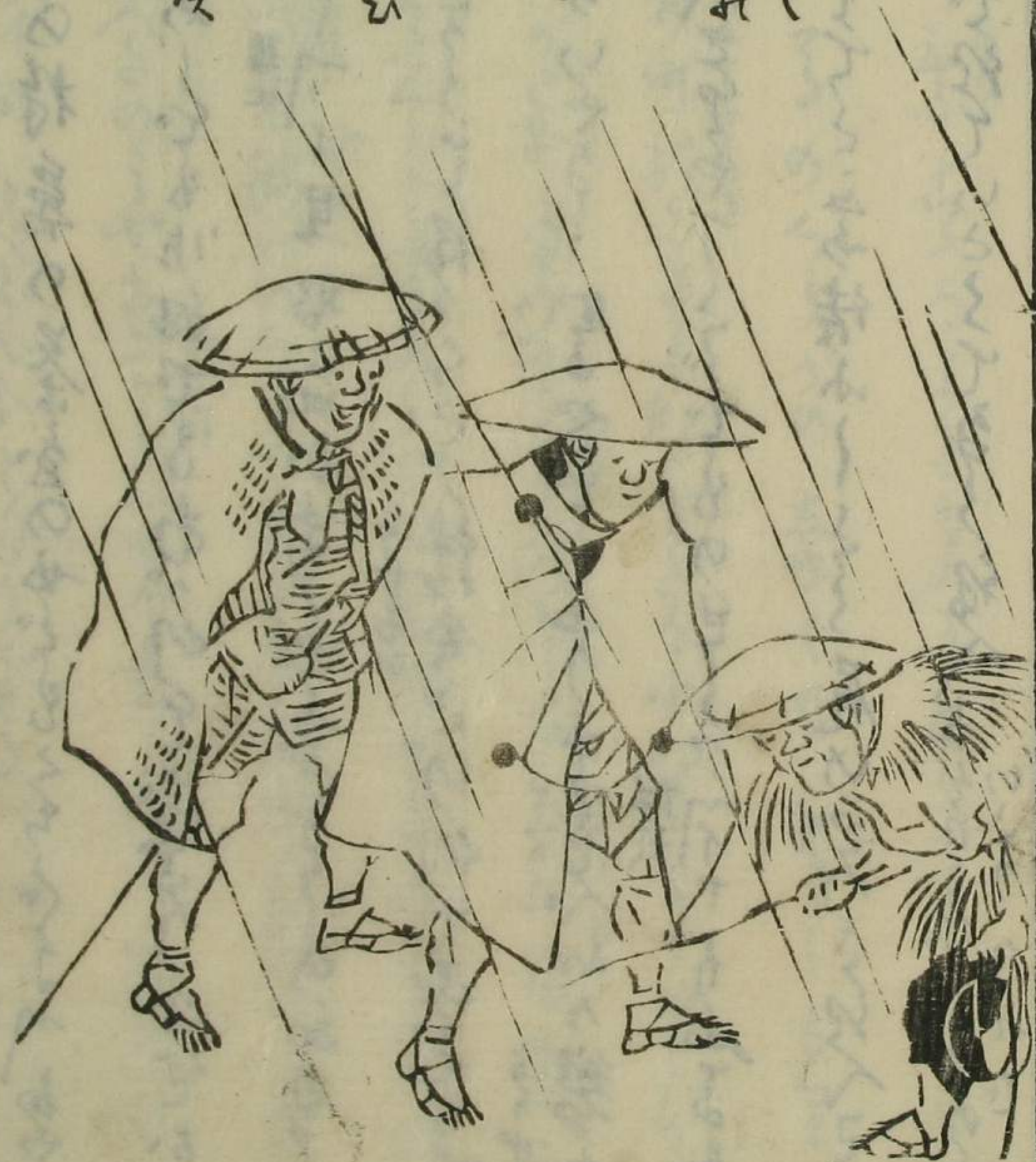
あうしつてあうしつて

返令
東後

おの
ま

並
子

あ
ま



菅田
泉二

あ
ま
あ
ま
あ
ま



まあこの持鼻のそまのむらもくあはむら
 くかぬもほほでもおぐらうませおふら
 るア〜^{馬士}馬士見物おまア〜^{つたあ}つたあ
 あま〜^{おごら}おごらつたあ〜^{つたあ}つたあ
 あま〜^{おごら}おごらつたあ〜^{つたあ}つたあ
 結入^{せよ}つたあ〜^{おごら}おごらつたあ
 あま〜^{おごら}おごらつたあ〜^{つたあ}つたあ
 結入^{せよ}つたあ〜^{おごら}おごらつたあ
 あま〜^{おごら}おごらつたあ〜^{つたあ}つたあ
 くひがでゆてい〜^{つたあ}つたあ
 ト〜^{つたあ}つたあ

まあこの持鼻のそまのむらもくあはむら
 くかぬもほほでもおぐらうませおふら
 るア〜^{馬士}馬士見物おまア〜^{つたあ}つたあ
 あま〜^{おごら}おごらつたあ〜^{つたあ}つたあ
 あま〜^{おごら}おごらつたあ〜^{つたあ}つたあ
 結入^{せよ}つたあ〜^{おごら}おごらつたあ
 あま〜^{おごら}おごらつたあ〜^{つたあ}つたあ
 結入^{せよ}つたあ〜^{おごら}おごらつたあ
 あま〜^{おごら}おごらつたあ〜^{つたあ}つたあ
 くひがでゆてい〜^{つたあ}つたあ
 ト〜^{つたあ}つたあ

おとこやうじやうまじい トお人由とんたなるよふいふのあて
わんわんあつちあつちニウのせいのあて

わんわんあつちあつち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

まがらうもあつちが ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

ちやうとまて ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

おとこやうじやう ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

よふ ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

おとこやう ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

おとこやう ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

おとこやう ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

おとこやう ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

おとこやう ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

おとこやう ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

おとこやう ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

おとこやう ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

おとこやう ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

おとこやう ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち ココヤアふたしきんち

酒の
 乃
 癡
 十返全
 ひき
 出
 びき
 びき



之
 味
 縁
 の
 と
 か
 へ
 へ
 へ
 へ
 へ



よめまうしめい。ごんぞとまゐりよんでまうせせられさる（トヤとろよりあつげさあまを トヤとろよりあつげさあまを

よめまおれごとく。そしてまゐるよめが。此後（トヤとろよりあつげさあまを

ゆ。せんぶつのごろめんの事。由吏（トヤとろよりあつげさあまを

まゆ又。田尾のまゐり入申つる。いづれ（トヤとろよりあつげさあまを

そくしつてゆまう。あゝあゝとまゐりけこ（トヤとろよりあつげさあまを

中ので。待くれゆまう。由中（トヤとろよりあつげさあまを

申す。わんごうゆめ入をく。申渡（トヤとろよりあつげさあまを

とろつとく。とろつとく。よめ（トヤとろよりあつげさあまを

ゆ。そまよ。本終のまゐりよめ（トヤとろよりあつげさあまを

なごくゆ。ふんごう。ま（トヤとろよりあつげさあまを

トヤとろよりあつげさあまを

トヤとろよりあつげさあまを

トヤとろよりあつげさあまを

トヤとろよりあつげさあまを

トヤとろよりあつげさあまを

トヤとろよりあつげさあまを

トヤとろよりあつげさあまを

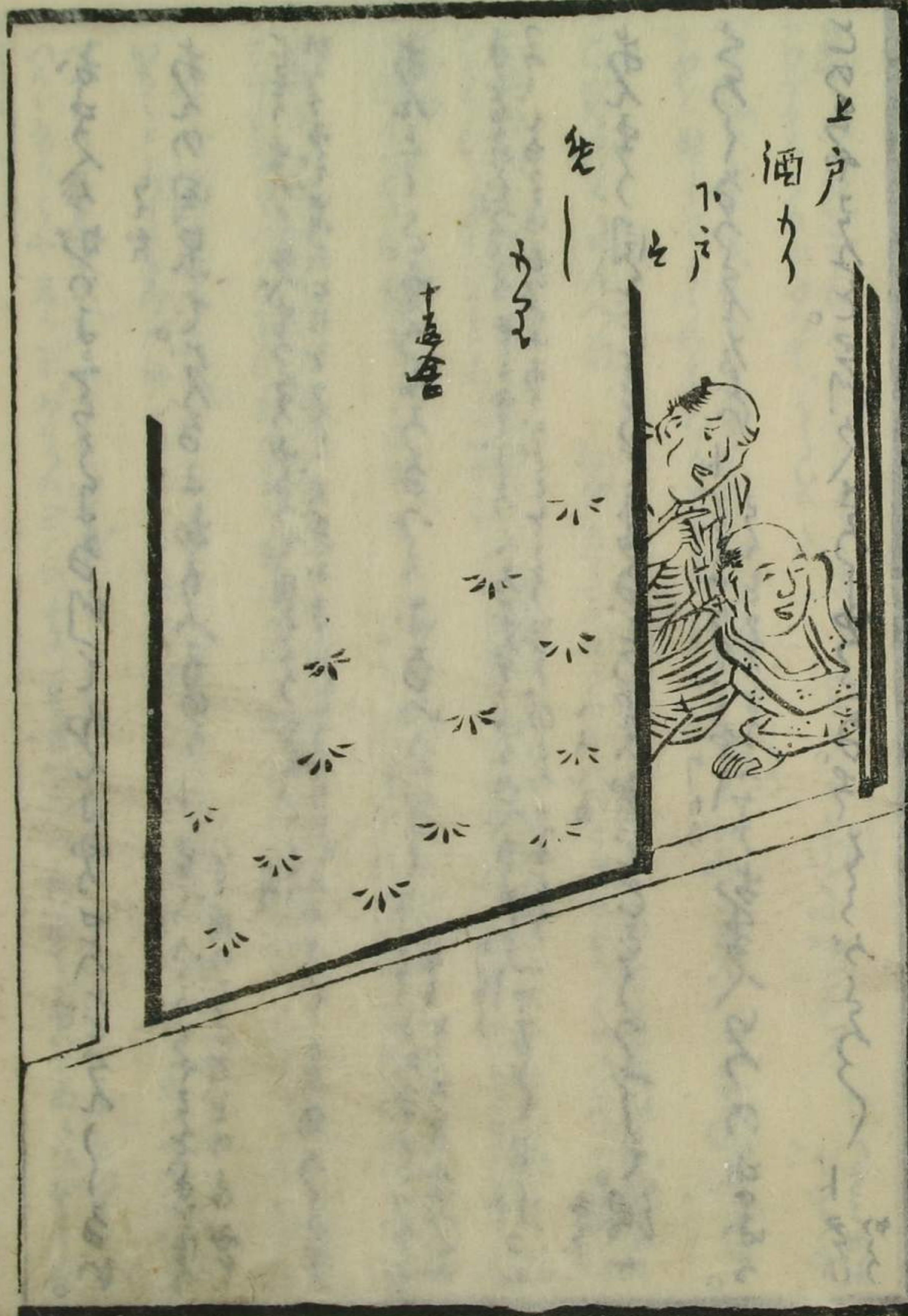
トヤとろよりあつげさあまを

ことごとくしるしをいんまのふるまひをみれば
 コリヤアよめあひ人があひ人のあひよしとせしめくあひるの
 ことごとく入あふふくとしるしをみればはくつてあつてあつてあつてあつて
 てあひ人のあひよしとせしめくあひるのあひ入あつてあつてあつて
 かあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 くあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 てもあひ人のあひるあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 ヤアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 へんのあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 なつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 ても田尾人あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of several lines of text, with some words appearing to be in a different script or dialect than the main body of text. The lines are roughly parallel and fill most of the page.

Handwritten text in a cursive script, similar to the page above. This page also contains several lines of text, with some words appearing to be in a different script or dialect. The text is written in a dark ink on aged paper. The lines are roughly parallel and fill most of the page.



ちぢん。は戸で平む地面のみさうあつた。かへん入れしあてし

しのみ トはちん一の内はあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。

ゆちふえしあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。

を味増のあろしけさようの細づらうま。あつたのちんはあつた。

酒びて。とるさるも妻のまゝ。料理ようち。中のむらう大俗ふ

煮のふ根と鴨。ほ山よこのいふと煮るとやが。つらでも

らゆしく トちんあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。

あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。

あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。

あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。

あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。

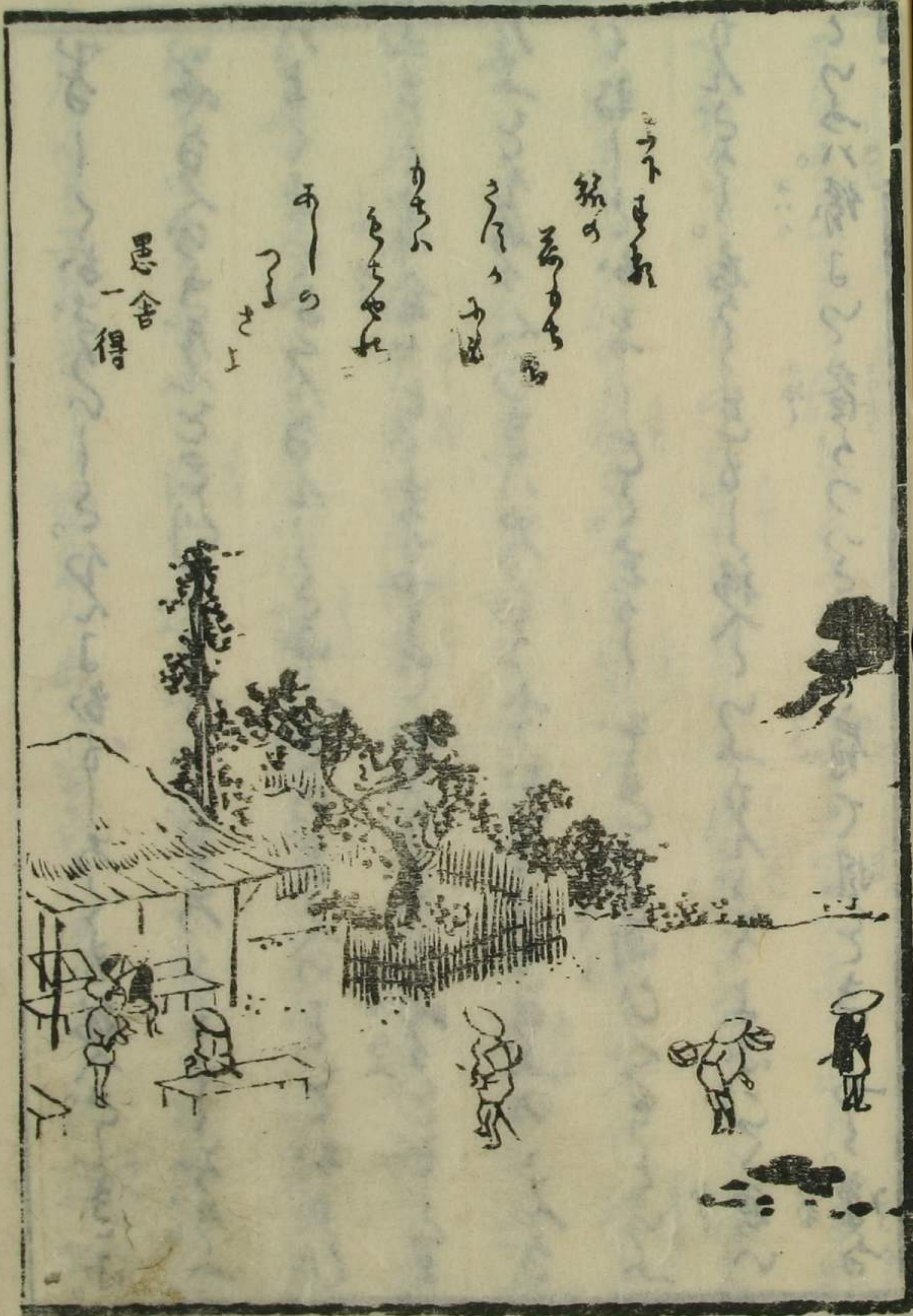
あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。

あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。

あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。

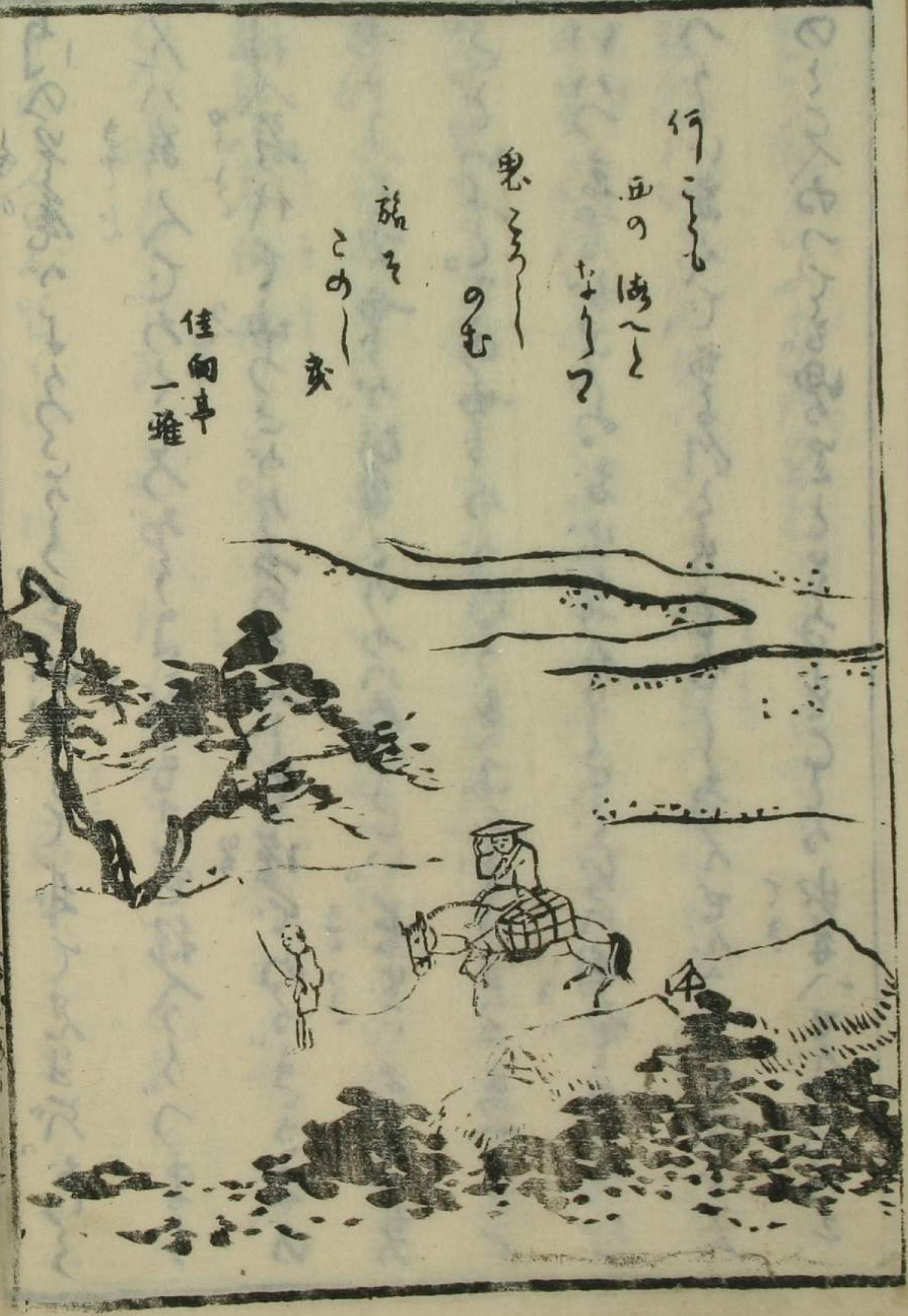
あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。

あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。あつたのちんはあつた。



愚舎
一得

ア一の
つさよ
カモハ
もちやれ
さんっ
かほ
あまもち
あつ
うた
まおれ



佳向亭
一雅

旅そ
この一
あ
鬼ころ
のむ
西の海へと
なうつ
行こも

ちよいちいじ押合ての沼わたり。東社どもが面々。二夜、舟が
 りつて、コイヤ、料理、舟ふらり、おとし、船け、小生、満
 経、鯉の生づうでる、なま、ぐらぬ、そ、い、か、後の、あ、
 う。船、鏡、は、朝の、目、む、く、山、む、り、あ、し、こ、し、こ、の、く、
 ま、小、舟、舟、ひ、し、ん、信、よ、う、け、し、出、し、ゆ、し、と、め、く、目、む、の、
 大、ま、の、ま、の、の、結、九、と、つ、る、の、が、東、甲、の、く、う、入、勢、入、と、ん、
 う、かん、ま、え、く、輝、む、お、う、や、ま、と、う、ま、り、お、と、と、
 せ、く、は、出、し、も、つ、る、海、る、理、く、ま、い、く、よ、う、し、
 せ、く、は、出、し、も、つ、る、海、る、理、く、ま、い、く、よ、う、し、

申、寸、伯、ら、ら、の、医、者、坊、を、め、が、ご、う、あ、う、律、こ、う、つ、て、念、
 併、と、や、出、ま、と、コ、リ、ヤ、あ、り、ろ、ん、さ、ん、と、め、く、の、う、り、
 こ、う、て、つ、ら、ぎ、合、せ、る、百、通、を、や、ら、ま、や、と、こ、の、り、の、
 小、後、生、お、じ、も、か、こ、も、う、う、く、し、
 あ、の、せ、い、こ、う、く、の、念、仏、ま、ご、う、こ、う、が、お、ち、り、と、
 外、ち、う、ま、ご、う、ば、ま、ご、う、の、ま、ち、く、ひ、の、よ、う、念、
 ち、どの、大、強、動、を、の、あ、り、し、る、こ、お、う、し、
 う、い、く、ま、え、り、り、あ、り、う、な、ま、あ、く、ま、
 又、海、人

此本中... 抄本... 中巻... 上巻... 下巻... 紙屋利助板

此本幸庄... 板を... 宿まで... 王子... 江戸... 草... 人... 貴...

本所相生町壹丁目

紙屋利助板



續巻毛十一編下冊終

名取坂

100000

mu gu ju tu